



宮川ふとし県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13 電話043(227)7411

地域の課題を解決し、地域の活力を維持・向上させていくためには、NPO、

千葉県大学、地元企業な

援するという取組である。

そこで何う。ちばコラ

題解決に成果を上げている

する。

宮川議員 ちばコラボ大賞について何う。近年、地域における人と人のつながりが希薄になり、地域コミュニティの機能低下が進んでおり、地域では福祉や子育て、防災、まちづくりなど複雑かつ多岐にわたる課題が山積している。

県では、こうした多様な主体による連携・協働の取組を促進するため、他のモデルとなる優れた事例を「ちばコラボ大賞」として表彰している。

この取組は、参加者から寄附を募って地元企業に地域の産品を備蓄しておき、事前に協定を結んだ地域や団体が被災した際に、この備蓄品を送り、被災地を支援するという取組である。

家庭における災害備蓄を地域に応用した点がポイントで、日常の防災意識の向上や寄附意識の醸成につながるユニークな取組となっている。

こうした素晴らしい取組の一層の拡充を促すとともに、この取組がモデルとなり、県内各地でこのような多様な主体による連携・協働の促進が図られるためには、表彰するだけでなく、受賞した取組を周知・広報し、広く普及させていくことが重要と考える。

県では、毎年度、多様な主体の連携により地域の課題解決に成果を上げている

ちばコラボ大賞の取組を普及せよ



2月県議会一般質問に登壇した宮川議員

宮川議員 初めに、キャッシュレス化について何う。キャッシュレス決済については、普段の買い物や電車やバス等の公共交通機関の利用時など、すでに我々の日常生活に浸透しており、民間だけでなく、自治体でも導入しているところが多くなってきた。キャッシュレス化の動きは今後もますます進んでいくと考えられる。キャッシュレス決済は、現

金ものやりとりが無く、決済がスピーディーで、どこで何にいくら使ったのかといった履歴を確認しやすくなるなど、県民の利便性が向上するものである。そのため、県においては是非積極的にキャッシュレス化の取組を拡大し、進めていくべきだと思

う。そこで、令和5年度には、入学検査料の対象校を14校に拡大するとともに、新たに県警や、博物館等の窓口における手続について、キャッシュレス決済を導入する予定であり、今後も更なる対象手続や決済手段の拡大に努めてまいります。

宮川議員 県警では運転免許証の更新手続きのほかに、色んな手数料について、各警察署などで収入証紙により受け付けていると承知している。そこで何う。県警の窓口でもキャッシュレス決済を導入することだが、県民の利便性

2月県議会・一般質問

銚子市及び東庄町選出の宮川太議員は、令和5年2月定例県議会の本会議場での一般質問に登壇し、キャッシュレス決済の導入や、地域活性化のための様々な取組、洋上風力発電など、県民の立場から課題を取り上げ、県執行部の考え方をたえました。宮川議員のその他の質問も合わせて、概要をお伝えします。

キャッシュレス化で利便性向上を

も年々増加しております。本年度は、更なる対象手続の拡大に向け、新たに県立中学校や高校の4校で入学検査料納付において導入を進め、志願者の約7割の方が利用するなど一定の効果が出ています。

運転免許証更新時も様々な納付手段に

宮川議員 県警では運転免許証の更新手続きのほかに、色んな手数料について、各警察署などで収入証紙により受け付けていると承知している。

なお、これに併せて、県民の利便性向上につながるものとして、木更津警察署においてオンライン講習又は高齢者講習受講済の方を対象とした運転免許証の即日交付の試行運用を開始することとしております。

●県政や銚子市・東庄町のご相談、ご意見をお寄せください

宮川ふとし 県事務所

〒288-0041 銚子市中央町18-11
TEL (0479) 26-3915 FAX (0479) 26-3916

交通安全 対策に

可搬式オービスを有効活用

宮川議員 県警の皆さんは、千葉県警察交通安全緊急対策アクションプランに基づき、通学路等における交通安全の確保として、可搬式速度違反自動取締装置、いわゆる可搬式オービスを追加配備し、令和4年4月から、計10台を運用し、日々、子供の交通安全の確保に取り組んでいただいているものと承知している。

しかしながら、通学路や生活道路においても、未だに速度違反を繰り返している速度違反を取り締まっている。可搬式オービスの運用状況及びその効果はどうか。

警察本部長 可搬式オービスの運用状況につきましては、令和4年中に1,778回(前年比+980回)の取締りを実施し、8,273件(前年比+2,957件)の速度違反を取り締まっている。可搬式オービスの効果につきましては、どこに設置されるか分からないことによる速度抑制効果が期待できるものと考えております。また、付近住民や学校関係者からは「取締り後、通過する車両の速度が明らかに下がった」「児童保護のためにも引き続き取締りをしてほしい。」などの意見が寄せられており、重大事故抑止に定の効果があるものと認識しております。

可搬式オービスの効果につきましては、どこに設置されるか分からないことによる速度抑制効果が期待できるものと考えております。また、付近住民や学校関係者からは「取締り後、通過する車両の速度が明らかに下がった」「児童保護のためにも引き続き取締りをしてほしい。」などの意見が寄せられており、重大事故抑止に定の効果があるものと認識しております。

故発生状況、県民の皆様からの取締り要望等を踏まえ、可搬式オービスを最大限有効に運用することにより、重大事故抑止に資する指導取締りを推進してまいります。

引き続き、県警の皆様には、通学路や生活道路を中心に、可搬式オービスを有効活用していただき、二度と悲惨な事故が起きることのないよう、子どもの交通安全確保に向けた取組を推進するよう要望する。

地域活性化の取組

宮川議員

千葉県の観光産業は、令和元年度の台風災害とその後感染症の影響で、長期間にわたって大きな影響を受けている。

このため、県では、県内観光の振興のため「千葉とく旅キャンペーン」や「観光体験割引キャンペーン」などを実施しているところだが、コロナ前の回復にとどまらず、さらに観光を盛り上げていくためには、これらの優待キャンペーンが終了した後も千葉県が旅行先として選ばれることが必要である。

そのためには、千葉県観光の魅力を広げていただくための取組が大切であると考えています。

そこで、私は、千葉県の様々な観光地を知っていただき、巡ってもらう仕組みと

宮川議員

「GOGO房総デジタルポイントラリー」に高い関心を持っている。

そこで何う。GOGO房総デジタルポイントラリーのこれまでの実施状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

知事 デジタルポイントラリーは、スマートフォン等の地図画面上に示されたスポットを巡って楽しんでいるだけでなく、県内の多様な観光スポットを知っていただく機会とするため、全市町村から488箇所を選定し、11月から実施しています。

これまで、県内外から約6千人の方に参加していただいております。そのうち、約480人の方が50か所以上の観光スポットを回っています。

この取組を、多くの方々に知っていただくことが重要であり、県においては、広報とともに、参加しやすい仕掛けづくりに注力していただくよう要望する。

ワーケーションの促進



自席から再質問する宮川議員

宮川議員 観光庁ではワーケーションなど仕事と休暇を組み合わせた滞在型旅行を働き方改革などと合致した「新たな旅のスタイル」と位置づけ、その普及を促進している。

首都圏で働く方々がワーケーションを考える際に、千葉県は最適な候補地になると考えています。

そこで何う。ちばワーケーション受入促進事業の今年度の実施状況はどうか。また、今後どのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 今年度は、ポータルサイトによる情報発信やWiFi環境など地域における受入環境整備への支援に取り組むほか、首都圏の企業にワーケーションの効果を実感していただくため、モニターサイトを開

催したところです。具体的には、銚子市などの北総地域や館山市などの南房総地域において、景色の良い場所でのテレワークとサンライズヨガや里山サイクリングなどを体験していただきました。加えて、SDGsの取組としての海洋ごみ回収の実態や廃校活用による地域活性化など、企業研修の要素も取り入れたところ、参加者からは大変好評を得たところです。

令和5年度は、引き続き、受入環境整備への支援や他地域でのモニターツアーを行うとともに、新たにPR動画を作成しSNS等で広報するなど情報発信の強化を図り、更なるワーケーションの促進に努めてまいります。

宮川議員 県内では、八口減少、少子高齢化は既に深刻な課題となっている。各市町村は、それぞれ

移住・定住

宮川議員 県内では、八口減少、少子高齢化は既に深刻な課題となっている。各市町村は、それぞれ

に創意工夫を凝らし、移住・定住施策に取り組んでいる。そこで何う。県・市町村の広域連携による移住・定住施策に、どのように取り組んでいくのか。

総合企画部長 移住の候補地を検討するうえでは、地域の魅力はもとより、住居や仕事、病院、学校など生活にかかる諸条件が充足しているかどうかが必要となります。このような情報は、市町村の枠を超えて、広域で一体的に提供することが効果的であることから、昨年10月に県庁関係課と市町村で構成する「千葉県移住・二地域居住連絡会議」を設置し、県・市町村の移住・定住に関する情報を二元的に集約する体制を整えたところです。

今後は、こうした移住関連情報を総合的に発信する。宮川議員 銚子沖の洋上風力発電については、令和10年9月に予定されている運転開始に向けて、導入に向けた手続きが進められているところである。より多くの地元企業が関連産業に参画していくことで、地域経済の活性化を図っていくことが大変重要であると考えています。

洋上風力発電事業

宮川議員 銚子沖の洋上風力発電については、令和10年9月に予定されている運転開始に向けて、導入に向けた手続きが進められているところである。

より多くの地元企業が関連産業に参画していくことで、地域経済の活性化を図っていくことが大変重要であると考えています。

県では今年度、陸上工事や風車関連部品に関する商談会等を開催している。そこで何う。洋上風力発電関連産業への地元企業の参入を促進するため、県は、これまでの取組を踏まえて、今後どのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 洋上風力発電は、風車の部品製造やメンテナンスなどの関連産業による経済効果が期待で

います。県としては、風車部材の製造等についても、県内企業の技術力の高さが理解されるよう、引き続き、商談会の開催等に取り組んでまいります。

知名度のある「千葉県」で情報をワンストップで発信することで、すべての市町村の移住関連情報が、効率よく検討者に届けられ、移住・二地域居住の促進に繋がるものと期待しているため、市町村とよく連携し、素晴らしいポータルサイトが立ち上げられるよう要望する。